

地震発生時の対応について

地震発生時において、生徒の安全確保を第一に考え、下記のような対応をさせていただきます。
また、各家庭におかれましても、普段から災害時の対応についてお子様にご指導いただくと共に、学校の対応にご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

■前日の下校後に地震が発生した場合

- 南丹市で「震度4」以上の場合、登校を見合わせ「自宅（または安全な場所）待機」とします。
- 上記の場合、被害状況や通学路等の安全が確認できれば、授業を行います。なお、「震度5弱」以上の場合、原則、「臨時休校」とします。
- 「自宅待機」となった場合は、その後の連絡があるまで、自宅もしくは安全な場所で待機します。
- 地震発生直後、震度が不明でも身の危険を感じるゆれや被害が発生した場合は、迷わず安全な場所に避難してください。

■登下校中（バス乗車中）に地震が発生した場合

- 一番近い安全だと思われる場所へ一時的に避難してください。揺れが落ち着いたら、「学校」「自宅」のいずれかより近い方、またはより安全と考えられる方に避難してください。
- バス乗車中の時は、運転手さんの指示をよく聞いて、バスの中もしくは安全な場所に移動して一時的に避難してください。

■在校中に地震が発生した場合

- 教職員の指示により、校内の安全な場所に避難し待機させます。その後、安全が確認できれば授業を行います。
- 「震度5弱」以上かつ教育活動の継続が困難と判断される場合は、引き渡しによる下校を原則とします。（保護者の迎えがあるまでは、学校で待機させます。）
- 「震度5」未満の場合でも、被害の状況によって、生徒の安全を第一に考え、授業の中止・下校・保護者の引き取り等の判断をします。

■その他

- 「生徒の引き渡し」等、特別な対応を行っている間は、学校への電話がかかりにくい状況が想定されますのでご了承ください。
- 自宅待機後の連絡は、家庭連絡システム tetoru を基本として連絡します。
- 地震の状況によっては、学校からの連絡を受信することができないことも予想されます。自宅待機後に、連絡が入らない場合は、「臨時休校」とします。